

就労継続支援A型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書

事業所名	IPFactoryぶろぼの	
人員配置区分	1. I 型 (7.5 : 1) 2. II 型 (10 : 1)	
定員区分	1 21人以上40人以下 2 41人以上60人以下 3 61人以上80人以下 4 81人以上 5 20人以下	
評価点区分	1 評価点が170点以上 2 評価点が150点以上170点未満 3 評価点が130点以上150点未満 4 評価点が105点以上130点未満 5 評価点が80点以上105点未満 6 評価点が60点以上80点未満 7 評価点が60点未満 8 なし (経過措置対象)	
評価点の公表	インターネット 利用	(公表場所) ホームページ (URL) https://pro-bono.jp/about/
	その他	

注1 厚生労働大臣が定める事項及び評価方法（令和3年厚生労働省告示第88号）に基づき評価点を算出すること。

なお、別添「就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）」も併せて提出すること。

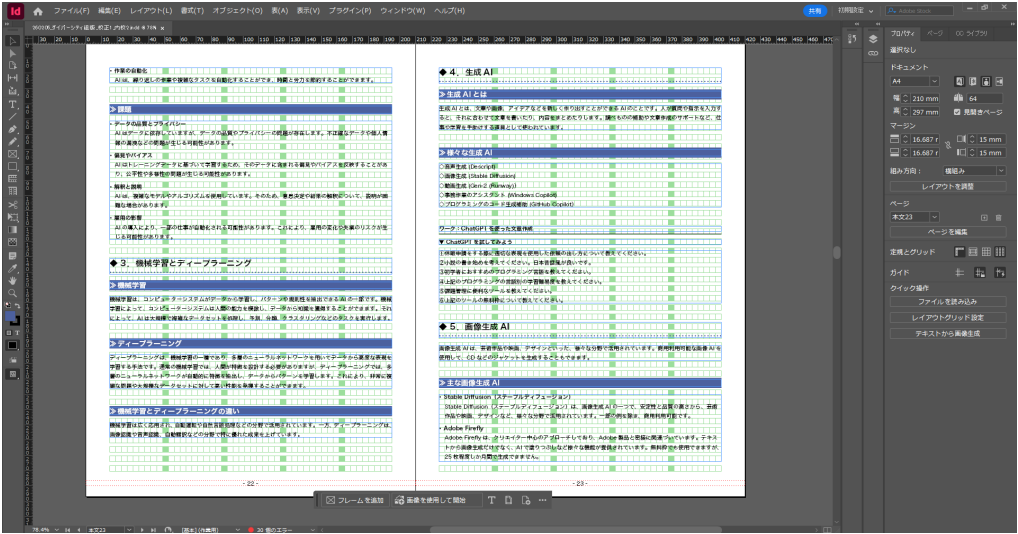
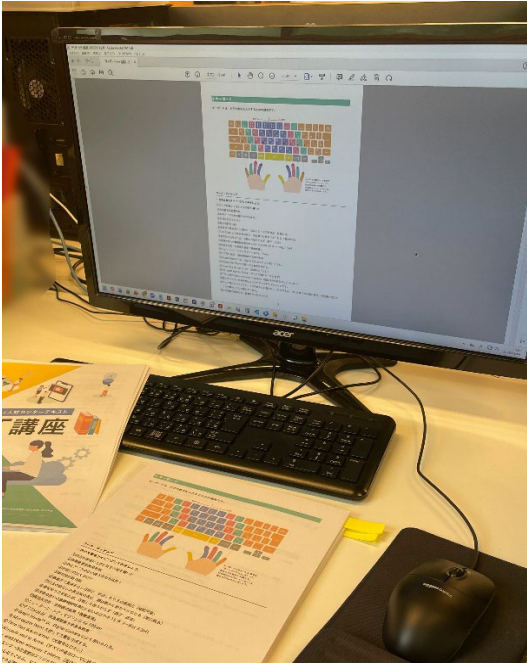
注2 評価点区分「なし（経過措置対象）」は、指定を受けてから1年度間を経過していない事業所が選択する。

注3 評価点の公表については、インターネットを利用した公表方法の場合は、公表場所と当該公表場所のURL等を、その他の方法による場合は、その公表方法を記載すること。

なお、公表していない場合は、減算となるので留意すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

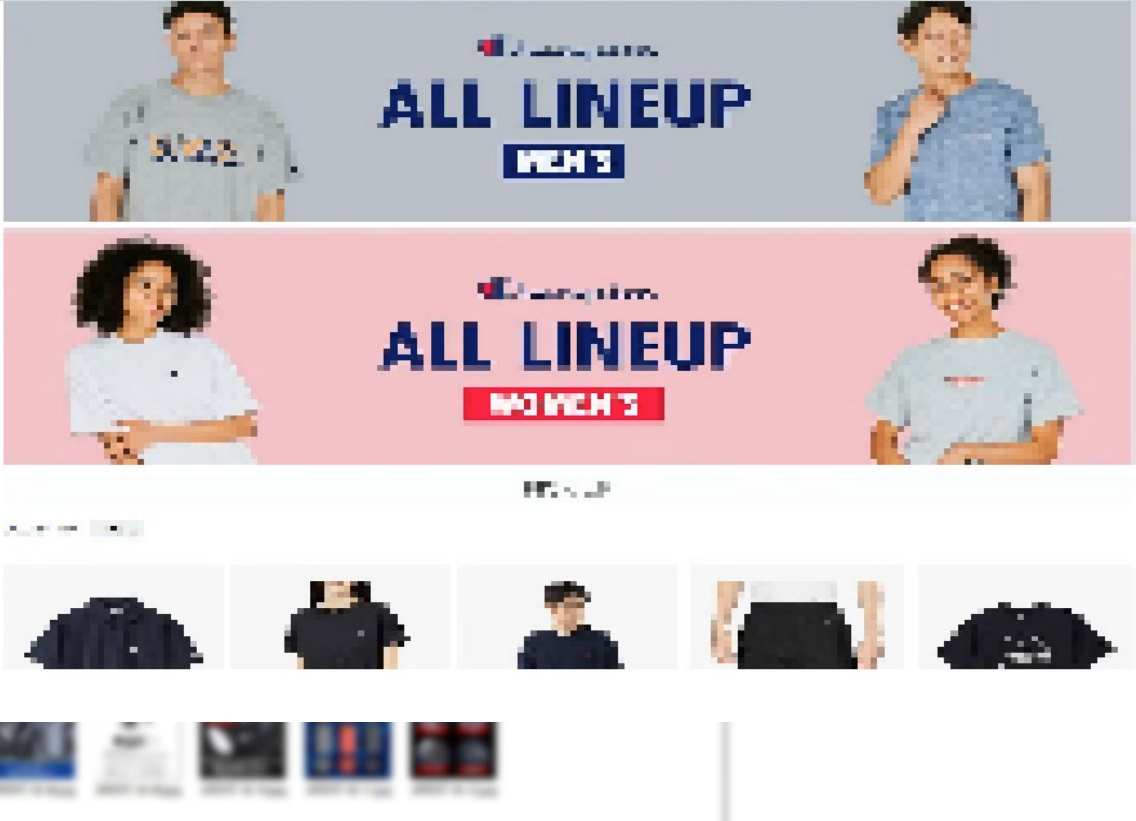
事業所名	IPFactoryぷろぼの	事業所番号	2910101449
住 所	奈良市大宮町三丁目5-41ぷろぼの福祉ビル 2 階	管理者名	川崎 裕平
電話番号	0742-35-3232	対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要	
＜活動内容＞ 活動場所：奈良市大宮町三丁目5-41ぷろぼの福祉ビル 2 階 実施日程：令和8年1月～令和8年2月 実施した生産活動・施設外就労の概要：デザイン 利用者数 等：3名	＜活動の様子＞    コメント 文字組み・作図・チェックなど、メンバーそれぞれの得意分野を生かし、計画性をもって協力して対応させていただきました。
＜目的＞ 奈良県民共済の加入者様にお渡しする卓上カレンダーの作成。 地域メリット：ダイバーシティの推進によって多様性を受け入れる土壌を作り出し、地域福祉の増進につながる。 対象者メリット：ダイバーシティ推進に必要な要素であるICTについて学ぶことができる。コミュニケーションツールやofficeソフトの使い方、オンラインマナーまでICTの活用に向けた実践的な知識を獲得できる。	
＜成果＞ 結果：表紙はカラフルに、本文はシンプルかつ優しい色味で彩り最初の心理的とりつきづらさを軽減 成果：図表なども効果的に用いており実用的な仕上がり 課題：より素早く納品できるようにデザインの精度・速度を高める	

連携先の企業等の意見または評価			
講座テキストのレイアウトとデザインを作成していただきましたが、文章の流れや内容を丁寧に読み取りながら、受講者にとって見やすく理解しやすい形に整理していただきました。 テキストデータからの依頼でしたが、テキストを配置するだけでなくレイアウトや見出しを工夫していただいたこと、内容に合った図やイメージ画像を新たに作成していただいたことで、資料全体の分かりやすさや完成度が大きく高まったと感じています。視覚的にも理解しやすい講座テキストに仕上げていただき、大変ありがたく思っています。 また、限られた納期の中でタイトなスケジュールでの依頼となりましたが、柔軟かつ迅速に対応していただき、予定していたスケジュールに間に合わせていただいたことにも感謝しています。			
連携先企業名	あたつく福祉型事業協同組合	担当者名	柁木

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名		事業所番号	2910101449
住 所	奈良市大宮町三丁目5-41ぷろぼの福祉ビル2階	管理者名	川崎 裕平
電話番号	0742-35-3232	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要	
＜活動内容＞ 活動場所：ITセンター奈良 実施日：毎週1回 実施概要：顧客からの要望について内容説明および実業務対応、AIの活用方法のレクチャー 利用者人数：3名 AIの活用例：デザインのブレインストーミング、デザインイメージの具現化or要約補助 等	＜活動の様子＞  大手ECモールへの専用ストアページ構築および商品出展業務。掲載するバナー画像作成、企業指定の商品情報を編集しECサイトへ登録。 ※契約上画像はぼかしを入れています。
＜目的＞ 狙い：顧客からの要望についての対応方法や理解を深め、AIの活用方法を各担当作業で検討していく メリット：スタッフ間でのコミュニケーションを取る機会の増加。また、先方からの感想をスタッフにも確認いただくことで、クライアントの意見を身近に感じ、不明点を一緒に解決。またAI活用して品質向上しているという経験を通じて、自己成長や自己肯定感、自尊心を向上させる	
＜成果＞ 結果：チーム力や作業精度が向上した 成果：顧客の要望を汲み取った業務を遂行することができた。各担当者によるAIの活用による品質向上も図ることができた。 課題点：レクチャーや作業に入るリソースを確保する必要あり	

連携先の企業や事業所等の意見または評価	
現在依頼させていただいている業務は、企画デザインの複数案提案のお願いするケースも多くなっており、それでも迅速かつ柔軟に対応して頂き、安心して任せれるものとなり大変満足しております。また、クライアントからの依頼内容の要件定義・指示が曖昧で明確になっていない案件も多く、難易度の高いお仕事だと認識しておりますが、着実に成果を挙げていただいております。今後も連携を密にとりながら、またAIの有効活用も検討していただきながら、良いモノと一緒に作成していければと考えております。今後とも引き続きよろしくお願い致します。	
連携先企業（担当者）	株式会社MAD 小林

利用者からの意見・評価
・スタッフ間でのMTGやコミュニケーションが増え、よりよい成果物を作成することができた ・先方からの連絡内容を自分で確認後、他スタッフや職員と確認・相談することで、より作業内容を理解した上で業務に取り組むことができた ・各担当者それぞれの作業においてAIの活用がすすみ、品質が向上した

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	IPFactoryぷろぼの
住 所	奈良市大宮町三丁目5-41ぷろぼの福祉ビル201号
電話番号	0742-35-3232

事業所番号	2910101449
管理者名	川崎 裕平
対象年度	R7年度

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		80 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去３年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60
②過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去３年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去３年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去３年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		点

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤－10点 ⑥－20点

(Ⅲ) 多様な働き方 (※)			
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15	
就業規則等で定めている	○		
②利用者を職員として登用する制度			
就業規則等で定めている	○		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている	○		
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている	○		
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている	○		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている	○		
小計 (注1)		6	点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(Ⅳ) 支援力向上 (※)		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		5
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)	4	点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

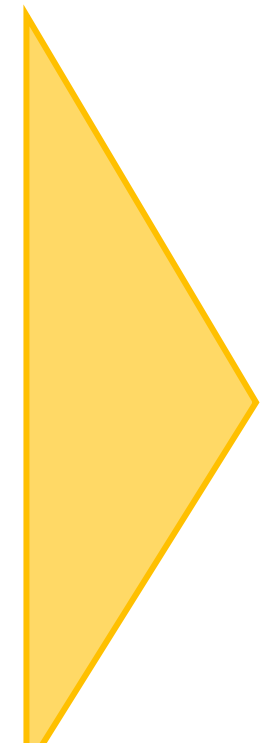
(V) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点

期限内に提出していない場合：-50点

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援Ａ型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	20点	10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						



合計
180 点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（R7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	28,434	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,442	人	利用者の1日の平均労働時間数	6.4	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（月～月）

前々々年度（年度）

生産活動収入から経費を除いた額	46,955,410	円	利用者に支払った賃金総額	46,918,491	円	収支	36,919	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

前々年度（年度）

生産活動収入から経費を除いた額	44,790,224	円	利用者に支払った賃金総額	42,767,282	円	収支	2,022,942	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（年度）

生産活動収入から経費を除いた額	47,851,426	円	利用者に支払った賃金総額	42,895,562	円	収支	4,955,864	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☐
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画を策定している	☐
①外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名 対人援助職のメンタルヘルスについて	
研修講師 吉田病院心理士棚部洸太朗先生	
実施日・受講者数 10月10日 5人	

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名 ICTで広がる障がい者雇用の可能性	
実施日 5月21日	
※学会誌等名	
掲載日 月 日	
発表テーマ ICTの活用について福祉現場での実践事例	

③視察・実習の実施又は受け入れ

③先進的事業者の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	
実施日/参加者数 月 日 人	
※他の事業所名 ハッピーワーク西ノ京	
実施日/参加者数 2月4日 1人	

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名 関西ビジネスミーティング	
主催者名 第一生命	
日時 10月28日	
内容 第一生命さん取引先企業が集まる商談会	

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度を整備している	☐
⑤当該人事評価制度を周知している	☐
人事評価制度の制定日 年 月 日	
人事評価制度の対象職員数 名	
うち昇給・昇格を行った者 名	
当該人事評価制度の周知方法	

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターを配置している	☐
⑥当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間 月 日～月 日	
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日 月 日	
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	☐
※認証を受けた日 月 日	
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

⑥指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

☐

※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。